

2022年12月29日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号：4575 東証グロス)
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住 眞
IR@canbas.co.jp

CBP501臨床第2相試験投与完了のお知らせ

本日、当社が現在米国で進めている膵臓がん3次治療を対象としたCBP501臨床第2相試験（ステージ1での早期終了を決定済み）のすべての投与群で所定の投与が完了したことを確認しましたので、お知らせします。

本臨床試験の概要は下記のとおりです。

対象：	膵臓がん3次治療
実施地域：	米国
投与群数：	4群 CBP501+シスプラチン+ニボルマブ（オプジーボ）3剤併用投与群×2、2剤併用投与群×2
症例数：	ステージ1 各9例、ステージ2（必要となった場合のみ）各14例
本臨床試験に関する詳細は、 ClinicalTrials.gov 及び当社2021年2月16日公表資料をご参照ください。	

今回の臨床第2相試験はあらかじめ「早期中止」の要件を設定した2ステージデザインを採用しており、ステージ1でこの要件を満たしたため、去る[2022年11月28日](#)、すべての投与群について、それまでに組入れられた各群9名の患者様への投与と観察をもって臨床第2相試験を早期終了する旨を決定しています。

本日、最終の患者様に対する所定の最大10サイクルの投与が確認されたことから、今後は、ご存命の患者様の経過観察と、臨床試験離脱後の状況確認のできていない被験者の生存フォローアップを進めます。その後、全生存期間（OS）などに関する必要な情報を収集できた時点でカットオフ（臨床試験のデータ収集を打ち切る宣言）を行い、臨床試験終了に向かうこととなります。

前回報告後の臨床第2相試験の状況

前回[2022年11月17日の経過報告](#)までにお知らせした臨床第2相試験の状況、各群の傾向などについて、その後現在に至るまで、大きな変動はありません。

本臨床第2相試験の詳細は、後日論文または学会発表で公表されます。それまでの期間中であっても、投資家の投資判断に重要な影響を及ぼす事象が発生した場合には随時すみやかに開示します。

今後のCBP501臨床開発プラン等

[2022年11月28日公表](#)のとおり当社は、臨床第3相試験を可能な限り早期に開始することを目指し、具体的な準備を進めています。今後、これに関し何らかの決定をした場合、またはこの決定に重要な影響を及ぼす事象が発生した場合には、すみやかに公表します。

当期業績への影響

当社は、当期業績見通しを公表していません。上記の臨床開発プランの選択による影響を含め、業績見通しが明らかとなったときは、すみやかに開示します。

以上